中国支部

爽やかな初夏の光に包まれた6月6日、第43回中国支部総会・懇親会がJR新山口駅前の「ウエディングコートエミリア」において開催されました。

当日は青山学院大学コミュニティ人間科学部教授小林瑞乃先生をはじめ、同西山利佳先生、後藤道子同窓会副会長、原田道太校友会山口県支部支部長を来賓としてお迎えし、同窓生28名が参加しました。

総会では、支部長よりこの1年間の活動報告、今後の計画について説明があり、参加者一同、支部活動を支えてくださっている役員の皆さまへの感謝を新たにしました。

会場が結婚式場ということもあり、華やかな雰囲気の中、懇親会が行なわれました。会場には6卓の円卓が並び、それぞれの卓を囲みながら近況報告や思い出話に花が咲き、世代を超えた交流が広がり、彩り豊かなフランス料理のコースが供され、和やかなひとときを過ごしました。

会食後には、小林先生による「今を生きる」をテーマとした講演が行われました。シャネルや与謝野晶子、柳澤桂子、オードリーヘップバーンらの言葉を題材に分かりやすくお話をいただきました。講演を通して、自分自身と向き合う時間を持つことの大切さを改めて考える機会となりました。

最後には参加者全員で、円陣を組み、手を取り合ってカレッジソングを合唱し心ひとつになり会を締めくくりました。



青山学院女子短期大学 同窓会中国支部 第43回総会 2026年6月6日 ウェディングコートエミリア

私自身、同窓会に参加したのは初回以来およそ20年ぶりでしたが、会場に足を踏み入れた時、学生時代の空気がふっと戻ってきたような気がしました。単に懐かしさを味わう場にとどまらず、今の自分を前向きに見つめ直すきっかけにもなりました。

学び舎は閉じても、青短で育まれた精神と仲間とのつながりは、これからも私たちの心の中で生き続けていくことを信じて、結びの言葉といたします。

56H　長山　礼子（兼重）

四国支部

第33回四国支部総会は、6月14日、高知市の「城西館」で、青山学院大学コミュニティ人間科学部教授河見誠先生、同菅野幸恵先生、安西彰子同窓会会長をお迎えして開催しました。

今回の会場「城西館」は、高知県に最初に順番が回って来た時の会場だと記憶しています。初めの頃は前夜祭もあり、役員皆宿泊してしっかりと計画を立て、他県の方たちも一緒に泊まってくださり、同じ短大を出ているというだけですぐに打ち解け、楽しく過ごすことができました。

案内の葉書に河見先生のお名前を拝見し、ジェンダー研究センターの聞き取り調査をしてくださったことを思い出し、ぜひお会いしたく、すぐに出席の返事を出しました。

当日は、総会の前にまず集合写真の撮影。来賓のお三方に挨拶をしていただくことから始まり、議事進行。河見先生の講演は『ドーラ・E・スクーンメーカーの「しなやかに夢を生きる」生き方』と題して心温まるお話でした。宣教師ドーラの生き方は、青山学院の歴史を拓くとともに、卒業していつまでもしなやかに生きている同窓生に自然に身についていることを感じます。青山キャンパスに記念碑があるとのこと。

部屋を移動しての懇親会。開会の辞と乾杯の後お弁当を開けると高知の食材を使ったお料理がきれいに並んでおり、鰹のたたきもたっぷりと運ばれ、美味しくいただきました。

そして自己紹介。33回すべて出席という方がお一人！頼もしく親しみも感じました。1回だけ欠席、2回欠席という方も・・・。この同窓会を大事にしてくださっていることを感じます（ちなみに、私は12回までは皆勤、高知での開催はすべて出席）。真面目に淡々と近況を話しているのに可笑しくて、まるで漫才や！と大笑いしたり、とても楽しいものでした。久しぶりにお会いした嬉しさもそこそこに、時間が来ると後ろ髪を引かれる思いで解散となりました。またお会いできるようにと祈りつつ「さようなら」を！

36J　安岡　信江（有安）



青山学院女子短期大学 同窓会 四国支部 第33回総会 2026年6月14日 於城西館